

ロータリー:
変化をもたらす

長井ロータリークラブ



Weekly report

国際ロータリー会長

イアン H.S. ライズリー

長井ロータリークラブ会長 渡辺 清隆
 長井ロータリークラブ幹事 大道寺 信
 パストガバナー 渡部 保太郎
 例会日 毎週火曜日 12:15~13:15
 事務局 長井商工会議所内 TEL0238-83-2047

第2800地区ガバナー 鈴木 一作
 第6ブロックガバナー補佐 小林 正芳

例会場 タスパークホテル TEL0238-88-1833
 会報委員 土屋 茂樹・浅野 敏明・栗田 正彦・齋藤 圭央

URL: <http://www.nagai-rc.jp>

四つのテスト 1 真実かどうか 2 みんなに公平か

平成30年6月19日(火曜日) 第2,752回

【月間テーマ】 ロータリー親睦活動

E-mail: info@nagai-rc.jp

3 好意と友情を深めるか 4 みんなのためになるかどうか

<例会報告 NO.37>

活動報告 Part2

★会長挨拶(渡辺清隆会長)



経済界の重鎮として公的には順調な梅吉でしたが、私生活においては長男の急逝、次男にも災難が続き後継ぎは桂三ただ一人となっていました。三井銀行に入り25年にわたり勤続していた梅吉は大正12年、55歳の時に常務取締役を辞任し第一線から退きます。しかし、一線を退いた梅吉ですが、まだ日本ではなじみが薄かった信託業務の重要性をいち早く見抜き、大正13年、日本初の信託会社である三井信託株式会社を設立し、初代社長となります。

信託とは財産を自ら管理運用する能力や、その時間的余裕の無い者が信頼できる他人に、その財産の管理、運用、処分を委ねるといったもので、適正な利益はすべて顧客、会社へ還元するという考えは梅吉らしい考えでした。昭和9年に三男、桂三が結婚すると子育てを果したとして三井信託株式会社社長を退任し、財団法人三井報恩会の理事長となります。こうして梅吉は自ら信条である「新隠居論」を実行に移して行きます。

梅吉は47歳の年に「新隠居論」という考えを発表しています。これは年をとった者たちの社会への新たな貢献の道を提示したものです。その内容は、「日本では隠居というと世の中から隠れてしまうことを意味する。それで未練が残りに鈍くなるが、西洋の隠居は世の中から離れるのではなく、なすべき仕事を見つけ出し、今まで職務に忙しくてできなかったことを尽

くすべきである。」と語っています。楽隠居なんて考えなよ〜と言っているようです。梅吉は人生で培った貴重な経験・ノウハウを活かすことができる新天地として公益事業を挙げ、その中で大いに世話を焼いてもらいたいと語っています。

実際に梅吉は昭和9年に三井報恩会の理事長となります。助成規模は当時のお金で100万~200万円に及び現在の数十億円を上回る金額になります。主な事業活動は診療所の設立、がん・結核治療研究の助成、国民健康保険制度法制化への促進、託児所・養老院などの新設拡充、農村振興機関の助成など多岐にわたりました。「他の人が喜んで顔を見るのが一番の幸せである。」と梅吉は言っていたそうです。

盛んな活動を見せていた梅吉でしたが、病気がかり苦しい日々を過ごしていました。貴族院議員として無理をして終戦国会に出席したことが病気を悪化させ、昭和21年4月28日、梅吉は永眠しました。享年78才でした。明治の始まりから太平洋戦争の終わりまでの日本が一番動いたと私は思うのですが、その時代を自らの使命を全うして梅吉の生涯は幕を閉じました。

梅吉は幼少期を過ごした長泉村に恩返しを行っています。教育基本金を寄付し、長泉小学校に図書館と本を寄付しました。これらの本は米山文庫と呼ばれて現在でも米山記念館に横に「こども図書館」として存続しています。

小学校教育の重要性を痛感していた梅吉は青山学院の附属小学校の建設を申し出て、昭和12年に緑岡小学校を開校させ自ら校長に就任しました。「人からされて嬉しかった事は人にもそのようにしなさい。人からされて嫌な事は人にもしてはいけません。」といった校訓のもと青山学院初等部として現在も引き継がれています。

梅吉は数多くの社会活動を行っていますが、それらの代表例として挙げられるのが日本初のロータリークラブの設立であります。梅吉は大正6年にテキサス州ダラスを訪れており、ロー

タリークラブなるものの存在と趣旨を知ります。その運動に深く共感し、日本への導入・実践を推進していきます。こうして大正9年に日本で初めてのロータリークラブが東京に設立され梅吉は初代会長に就任します。その後ロータリークラブは更なる発展を遂げます。更にロータリークラブに対する梅吉の貢献を讃えるものとして米山奨学会が設立されています。



3週に渡って米山梅吉の話でした。私の話も今日で終わります。1年間お話をさせていただきありがとうございました。今思うと大変でしたが私にとって良い思い出になりました。1年間のご清聴ありがとうございました。

★幹事報告(大道寺幹事)



・これが最後の報告になると思います。1年間ありがとうございました。

- ・2017-2018 地区大会のDVDが届いております。
- ・米沢ロータリークラブ 60周年記念式典、出席への御礼が届いております。
- ・ガバナーノミニー・デクシネート決定のお知らせが届いて、2020-2021 年度ガバナーに就任する2018-2019 年度ガバナーノミニー候補者の推薦を希望するロータリークラブを推薦を求めた結果、米沢中央ロータリークラブの齋藤榮助氏がガバナーノミニー・デクシネートに正式に決定しました。

・早退届 大山友規憲 会員

★委員会報告

次年度プログラム委員長 大道寺 信 会員

・7月のプログラムについて

- 第1週 3日 新年度船出乾杯 活動計画 Part 1
- 第2週 10日 活動計画 Part 2 渡部 PG 卓話
- 第3週 17日 16日祝日につき休会
- 第4週 24日 夜例会 ビアパーティー
- 第5週 31日 ガバナー公式訪問 上林 直樹 氏

<ニコニコBOX>

・渡部保太郎パストガバナー

次期会長・幹事さんから御挨拶頂きましたので

★活動報告 Part 2

○会員増強・会員維持常任委員会(高橋勇喜知委員長)

代 大道寺幹事

・重点目標の「純増1名・退会者ゼロ」を達成することができました。今後60周年に向けて、会員の増強に力を向けなければと考

えます。

○会員増強・会員維持委員会 (齋藤喜内委員長)

代 遠藤伴明会長工レクト

純増1名を目指すこと、会員維持を図ることを重点目標として取り組んでまいりました。1名の新会員を迎えることができ、ロータリアン仲間が増えたことは組織の活性化にも繋がることと思

○奉仕プロジェクト常任委員会(大山友規憲委員長) 順 移動

今年度は、それぞれの委員会で計画されていた事業を渡辺会長の方針に沿って実施して頂きまして、ありがとうございました。次年度以降、様々な奉仕活動が展開されると思いますが、その礎になれば幸いです。

○出席委員会 (伊藤克也委員長)

活動方針に掲げた、「ロータリー活動の理解」「例会の充実」を会員に理解頂く方策については、メール配信における内容の検討(改善)行ない、毎週配信することで周知徹底は出来たものと思

○親睦委員会 (大滝徹委員長)

活動方針であったクラブ会員及び他団体との親睦交流を、下記の活動にて深めることができましたと思

1. ビアパーティー・例会 7月
2. 4クラブ合同例会 9月
3. クリスマス例会 12月
4. 新年会 1月
5. 合同観桜会 4月
6. 最終例会・ゴルフ 6月(来週)

○社会奉仕委員会 (前田昌信委員長)

11月10日金曜日に長井市陸上競技場で記念植樹をしました。長井中央ロータリークラブとの共催で行いました。地区大会の前日でしたが、盛大に開催し大変うれしく思

○青少年奉仕委員会 (前田昌信委員長)

長井ロータリークラブ杯英語弁論大会は私の都合により会長工レクトの遠藤伴明さんに来年の為もあるのでと云うことで出席して頂きました。

○ロータリー財団・米山奨学会・国際奉仕委員会 (浅野敏明委員長)

2017年3月に行ったロータリー財団地区補助金交付申請「長井市陸上競技場環境整備植栽事業」が採択になり、当該事業を実施することができました。

また、米山記念奨学会への寄付金は、一人当たり3,000円、総額84,000円を拠出しました。

国際奉仕委員会としては、グローバル補助金の先進事例として、地区研修において天童東RCの取り組みについて、受講する機会がありました。課題も多くありますが、今後検討するうえで、たいへん参考になりました。

★次回例会予定

6月26日(火) 18:00～ 最終例会 ゴルフ&懇親会

★出席報告

6月19日 例会 報告者 伊藤 克也 委員長

	会員数 (免除)	出席数	出席率	MU数	修正 出席数	修正 出席率
本日	30	25	83%			
前回 (6/19)	30	21	70%			
前々回 (6/12)	30	26	86.66%			